



おいしく、安全な「水」と ともに暮らせる贅沢

おいしく、安全な水道水

岡垣町の水道水は、約85割を地下水でまかなっており、水質はカルシウムやマグネシウムをたっぷりと含んだ硬水です。厚生労働省の「おいしい水の要件」をほぼ満たしている安全で安心なおいしい水です。

この水を守っていくため、森林保全活動や清掃活動に取り組んでいるほか、全国でも珍しい「地下水の保全に関する条例」を制定しました（令和6年7月1日施行）。

水を育む森林の 保全活動

岡垣町の水道水は、孔大寺山系などの山々が涵養する地下水が水源となっています。これまでの研究により岡垣町の地下水は、100年以上前の雨から生まれていることが判明しています。

この水を育む森林の保全を図るため、荒廃森林整備事業、ボランティアによる竹林伐採活動などの取り組みが行われています。

地下水の魅力を伝える

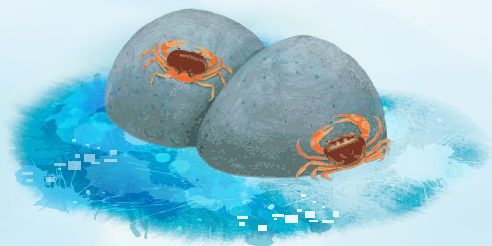
地下水をボトルに詰めて、イベントなどで多くの人に岡垣町の地下水のおいしさや、水によってたらされる豊かな暮らしを伝えています。





水辺の環境学習

各小学校で水に触れる学習を行う。写真は矢矧川で行われた海老津小学校4年生の活動の様子。
駅のすぐそばでこのような学習ができることも岡垣町の魅力のひとつ。



矢矧川は町を南北に流れ、市街地を通過して三里松原で響灘に注ぐ全長14キロの二級河川です。平成10年から、河川愛護団体・地域住民・行政が協働で河川の一斉清掃などの、河川愛護活動を行っています。
河川敷などのごみがなくなることで、きれいになった矢矧川には、多くの淡水魚が見られます。

矢矧川の清掃

岡垣町の各小学校では、郷土の自然に接して学び、また環境問題への関心を高めてもらうため、矢矧川や汐入川などで水質調査や水生生物調査などの野外授業を行っています。

子どもの頃から「水」を身近に感じられること

